

# 令和6年度会務報告

## 《基本方針》

所有者不明土地の解消に端を発する民法等の一部改正法、及び相続土地の国庫帰属に関する法律の施行など、国民生活に密接に関係する法制度改革が加速度を増している中、土地家屋調査士制度を取り巻く環境も大きな変化の渦中にあります。とりわけ、昨年に行われた新しい管理人制度では、土地家屋調査士が業務として裁判所と関わることになり、隣接法律専門職として大きなステージに一步を踏み出せる可能性を秘めています。我々土地家屋調査士は、不動産の表示に関する登記及び土地の筆界を明らかにする業務の専門家として、所有者不明土地問題の解決と予防に資する責務を果たすため、研究を絶やさずこれらの法改正により一層深く関わっていきます。

いつ発生してもおかしくないと言われている、東南海・南海地震に備え、昨年からの地震対策に取り組んでいるところですが、今年度は最終的な詰めとして、会員の安否確認方法の確立や被災者支援など、予行演習を実施して実践的な対策を整えます。

我が国が抱える少子高齢化問題は我が業界でも同様であり、会員数の減少に歯止めがかからない状況が続いております。会費収入によって運営している会にとっては非常に危機的な状況が続いていると言わざるを得ません。事業の見直しや効率化を常に意識し継続しつつも、事業規模の縮小や取りやめなど、マイナス要素を多く盛り込みながらの運営は、将来世代への持続可能な組織として継承することはできないと考えます。ネガティブな発想を捨て去り、土地家屋調査士が明るい未来のある職種であることを発信し続け、受験者増加のための活動を展開します。そのためには、適正な報酬を継続して確保することも非常に重要な要素であり、会員のひとりひとりが会への帰属意識を高く持ち続け、一体感をもって活気あふれる業界になれるように目指します。

## 《重点課題》

### ① 各種法・制度改正への対応

所有者不明土地管理人制度に対応すべく裁判所に候補者名簿を提出した。昨年12月に裁判所から管理人の推薦依頼があり、第1号となる管理人が選任された。更に、本年3月には第2号が選任され、業務が継続中である。

### ② 会則・規則等の遵守

定例研修会の挨拶の時間を借りて、法令遵守を呼びかけている。新入会員登録証授与式では、電子証明書の取得をはじめ、実例を交えて会則・規則の遵守を徹底するよう指導している。

### ③ 大規模災害への備え

志摩市、鈴鹿市で開催された三重県総合防災訓練に参加した。隣接士業6団体による三重県災害支援活動士業連絡会が発足し、相互に連携、協力する覚書に調印した。災害対策マニュアル、運用細則等の策定をおこなった。第3回定

例研修会で、総務財務部と元宮城会会長から研修をおこなった。

#### ④ 会帰属意識の高揚を推進

オンライン申請やWEB会議などの普及により、会員同士が顔を合わせる機会が少なくなったことから、総会、定例研修会、新人研修会などで、会員に積極的に声をかけ、各種行事への参加を呼び掛けている。

#### ⑤ 持続可能な会務運営についての研究

会費検討委員会を組成し、財政健全化のため会費値上げを検討した。また、第2回定例研修会で、報酬額について研修をおこなった。適正な報酬額を継続して確保することこそ、私たちの制度が未来に向かって持続し発展することを発信している。

### 《継続活動》

#### ① 津地方法務局との連携

10月に法調会および実務打合せ会と懇親会を開催し、様々な意見交換がされた。第1回定例研修会に講師として、また、全国一斉無料相談会に相談員として職員を派遣していただき良好な関係を保っている。

#### ② 日調連中部ブロック協議会との連携強化

連携協定により結び付きが強い東海工業専門学校金山校の学校祭でのブース出展や東京法経学院との連携により、受験者の増加を目指して活動をおこなっている。11月には三重で親睦ゴルフと旅行を企画した。

#### ③ 土地家屋調査士政治連盟及び公共嘱託登記土地家屋調査士協会との連携強化

三合同意見交換会の継続により、連携を強化している。政治連盟には、各党の政策懇談会等において、地籍調査事業の推進と人員および予算確保、所有者不明土地問題の解消、空き家等対策、狭あい道路解消、未登記道路解消に向けて継続的な要望をお願いしている。公嘱協会とは、出前授業の相互協力、講演会の後援をおこなっている。両会とは引続き良好な関係を保ちながら調査士制度の充実発展のため協力していく。

#### ④ 境界問題相談センターみえの活用についての研究

調査士運営委員の改選があったことから、弁護士運営委員との合同会議及び懇親会を開催し、過去の調停の具体的な資料を開示して、活発な意見交換をした。今後も良好な関係を保ちながらセンターが有効活用できるよう、引き続き研究を重ねていく。

#### ⑤ 各種士業との情報交換

隣接士業6団体により2年連続となる隣接士業連絡協議会が開催され、会員の高齢化、会費値上げ、女性役員登用など各士業特有の問題点などが話し合われた。先般は6士業による三重県災害支援活動士業連絡会の発足調印式が執り行われ、更に密接な関係を築いている。

## 総務財務部（松井金也、萩原巧、市川誉、西川光一）

### <総務部門>

#### 1. 会則、各種規則等の見直し

- ①大規模災害対策マニュアル等の協議、作成
- ②ハラスメント防止に関する指針の協議、作成
- ③会員証発行、会員名簿のデータ化
- ④会則別紙、一部改正に関する協議
- ⑤費用弁償等に関する協議
- ⑥希望者へ土地家屋調査士手帳の配布を実施
- ⑦退会者への感謝状等の贈呈

#### 2. 土地家屋調査士政治連盟、他の士業等との連携・協調

- ①10/21 法調会に出席
- ②4/12、11/22 本会・公嘱協会・政治連盟合同意見交換会

#### 3. 組織体制の整備・研究

- ①8/21、2/20（WEB会議）本会・支部長合同意見交換会
- ②7/23、9/11、10/9、11/13 会費検討委員会開催
- ③土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査補助（調査士法等違反に関する調査）の実施（津本局、桑名支局、四日市支局、伊賀支局、鈴鹿出張所）

### <財務部門>

#### 1. 予算、決算の内容の精査と経費削減

- ①各種書類の電子化についてペーパーレス化及びデータ管理の推進
- ②全会員メール対応の推進について96%達成

#### 2. 財政の健全化と管理体制の充実

- ①中長期的な財政計画の検討
- ②定額会費の検討

## 企画社会事業部（西尾光、小林尚史、中村行彦、伊藤智広）

### <企画部門>

#### 1. 津地方法務局との連携

- ・7/27 津地方法務局と合同で不動産表示登記無料相談会実施
- ・10/21 法調会の後実務打合会実施

#### 2. 数値資料センターの運営及び境界鑑定についての研究

- ①資料センターの充実した管理・運営
  - ・令和6年度利用実績126件  
（内訳：会員112件、官公署等14件）
- ②境界鑑定（筆界特定）に関する研修等の検討
  - ・4/10、6/12、8/6、10/23、11/20、12/18、1/22

- 境界鑑定・管理委員会を開催
- ・2/15 研修会実施（第4回定例研修会）

### 3. 各種資料の情報収集及び活用についての研究

- ①活用方法等の継続的な研究・検討
- ・各市町の境界確認申請等情報のホームページ公開

### 4. 土地家屋調査士を取り巻く環境変化への対応

- ①シンポジウム等への参加
- ・6/5 所有者不明土地管理人制度についての勉強会参加
- ・7/31 しずおか境界シンポジウム参加
- ・8/30 所有者不明土地管理人の候補者名簿を津地方裁判所へ提出
- ・10/16 同管理人を裁判所の依頼により推薦
- ・10/29 あいち境界シンポジウム参加
- ・1/18 災害時の連携について考えるシンポジウム参加
- ・2/14 防災シンポジウム in 岐阜参加

## <社会事業部門>

### 1. 境界問題相談センターみえの活用

- ①センターみえの活用方法の研究・状況分析
- ・電話問合せ 5件、相談 0件、調停 0件
- ・7/10(調査士)、10/3(調査士・弁護士) 運営委員会開催
- ・8/28 土地家屋調査士会全国ADRセンター担当者会同参加 (WEB会議)

### 2. 社会貢献（災害対策・空き家問題等）への取組み

- ①災害対策及び空き家問題等に関する協議
- ・6/4、8/6、9/3、11/7、11/19 総合防災訓練全体会議出席 (WEB会議)
- ・10/31、2/25 空き家ネットワークみえ合同会議出席
- ②協定に基づく説明会等への参加
- ・6/14 市町等行政職員を対象とした防災研修出席
- ・12/8、12/22 三重県総合防災訓練参加
- ③被災地の復興活動に対する支援
- ・7/30、11/19 住家の被害認定業務等に係る研修会参加
- ④空き家相談会への対応
- ・6/8 志摩市、7/13 伊賀市、10/12 四日市市、10/19 名張市  
11/16 津市、12/1 桑名市、12/1 鈴鹿市、12/8 松阪市・多気町  
2/8 伊賀市 空き家相談会へ参加

### 3. 無料登記相談会の継続実施

- ①毎月2回の無料登記相談会
- ・令和6年度 21回実施 (相談件数48件)
- ②不動産表示登記無料相談会
- ・7/27 全国一斉不動産表示登記無料相談会を法務局と共同で開催 (相談件数22件)

#### 4. 公共嘱託登記土地家屋調査士協会との連携

##### ①公嘱協会主催の講演会等への後援

- ・10/25 公嘱協会講演会「大規模自然災害に備える防災・復興まちづくりの事前準備について」への後援

### 研修部（稲本大、板井孝雄、鎔元慶太、岩本哲也）

#### 1. 研修体制の確立

##### ・研修会の開催

- ①7/20 第1回定例研修会 三重県土地家屋調査士会館（参加者18名）、ZOOM同時配信（参加者104名）計122名  
データ配信（視聴者12名）  
第1部『相続人申告登記について』  
『所有権の登記の登記事項の追加関係について』  
講師 津地方法務局 総括登記官 長谷川広明 氏  
第2部『士業が知っておきたい！ハラスメントの問題と対応について』  
講師 社会保険労務士 前野優紀 氏
- ②9/28 第2回定例研修会 三重県土地家屋調査士会館（参加者17名）、ZOOM同時配信（参加者90名）計107名、  
データ配信（視聴者13名）  
『土地家屋調査士業務取扱要領と報酬額参考算定資料』  
講師 神奈川県土地家屋調査士会 会長 大竹正晃 氏
- ③11/30 第3回定例研修会 サン・ワーク津（参加者47名）、  
マナブル後日視聴（視聴者29名）  
第1部『大規模災害に関する規則及び大規模災害発生時における  
安否確認・連絡方法等について』  
講師 三重県土地家屋調査士会 総務財務部長 松井金也 氏  
第2部『大規模災害に備える』～東日本大震災で地域と土地家屋  
調査士と土地家屋調査士会に何が起きたのか～  
講師 宮城県土地家屋調査士会 元会長 鈴木 修 氏
- ④2/15 第4回定例研修会 三重県土地家屋調査士会館（参加者15名）、  
マナブル同時配信（参加者58名）計73名、  
マナブル後日視聴（視聴者28名）  
『筆界特定制度・筆界特定調査委員の現状と事例紹介』  
講師 境界鑑定・管理委員会

#### 2. 年次研修の運営

- 11/2 令和6年度年次研修 三重県総合文化センター  
（修了者71名、受講猶予者11名）

#### 3. 新人研修の実施

- 3/22 公嘱協会合同新人研修会を開催（受講者8名）

#### 4. 支部研修会への支援

- 四日市支部、津支部、伊賀支部（2回）、松阪支部、伊勢支部が実施

## 5. 他会研修会への参加

9/27 岐阜会研修会『官民境界について考えよう』～官民境界に関する近年の制度改正についての解説～

YouTube ライブ配信視聴（視聴者 研修部 3名）

## 広報厚生部（林義人、吉田穰次、豊田一哉、米田道裕）

### <広報部門>

#### 1. 土地家屋調査士制度の対外的広報活動

##### ①土地家屋調査士の日等のイベントに伴う広報活動

- ・7/27 不動産表示登記無料相談会における広報活動

津市全域回覧板、ラジオ CM、法務局本局及び支局でのポスター掲示

##### ②広報ツールの作成、新規開拓

- ・徽章入り朱肉の作成、ボールペンの作成、マンガ冊子の購入
- ・公嘱協会と合同でのトートバッグの作成
- ・司法書士会と合同でのポスターの作成
- ・プレスリリースの作成・投稿

##### ③出前授業の実施

- ・5/13、5/17 皇學館大学  
(216名、193名に職業紹介)
- ・11/1 三重高等学校  
(進学コース3年生190名に座学講義)
- ・11/19 三重県立四日市中央工業高等学校  
(都市工学科2年生40名に座学講義と測量実習)
- ・三重県私学協会理事会及び県立学校長会にて出前授業の説明

##### ④ホームページの内容の充実と迅速な情報伝達

- ・ホームページにて随時情報発信

##### ⑤支部広報活動への支援

- ・該当支部へ支部広報助成金を交付

#### 2. 内部広報活動

##### ①ホームページの内容の充実と迅速な情報伝達

- ・会員専用ページ及び電子メールにて情報伝達、行事報告随時発信

#### 3. 会報の発行

##### ①BORDER 94号(8/15発行)

##### ②BORDER 95号(1/1発行)

### <厚生部門>

#### 1. 親睦事業

##### ①会員親睦事業の開催

- ・10/5 会長杯親睦ゴルフ大会（エクセレントゴルフクラブー志温泉コース）を開催（参加者34名）
- ・3/1 親睦ボウリング大会（ラウンドワン津高茶屋）を開催（参加者20名）

##### ②厚生施設の斡旋

- ・レジャー施設利用についての優待（ナガシマリゾート）